

宮城県循環器病対策推進計画について

東北大学病院循環器内科 教授 安田 聡



心脳血管疾患は日本人の死因の 25% を、国民医療費の約 20% を各々占めています。また要介護度が高い群では脳卒中が 1/3 を占め、平均寿命と健康寿命の差を生み出す要因となっているなど脳卒中・循環器病による死亡・後遺症は大きな社会的問題となっています。

このような背景から、令和元年 12 月 1 日脳卒中・循環器病対策基本法が施行されました。この基本法に基づき都道府県ごとに推進計画の立案が行われてきましたが、令和 4 年 4 月 6 日「宮城県循環器病対策推進計画」が公開となりました。「令和 22 年 2040 年までに 3 年以上の健康寿命の延伸」・「循環器病の年

齢調整死亡率の減少」を目指すことを県の目標としています。循環器疾患の危険因子に関する宮城県のデータをみてみますと、高血圧の割合は全国ワースト 12 位、喫煙は全国ワースト 7 位、糖尿病も男性・女性ともワースト 1-2 位、メタボリックシンドローム：該当者とその予備軍の割合は 31.4% で全国ワースト 2 位という状況にあります。そのため生活習慣病予防啓発等の強化、循環器病の正しい知識の普及啓発が求められています。宮城県 / 東北大学病院は全国 12 か所の総合支援センターの一つに選定され、本年 7 月、東北大学病院脳卒中・心臓病等総合支援センターが開設されました。副センター長を拝命し、富永 悌二病院長・センター長の本事業に取り組んでまいります。

脂質管理2次予防の重要性（院内での取り組みと連携）

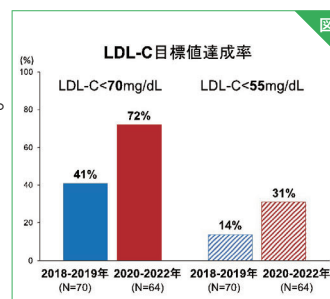


心血管イベント抑制を目的とした LDL-C 治療目標値は“the lower, the better”で、動脈硬化性心血管疾患の 2 次予防においてスタチンを中心とした厳格な脂質低下療法が重要です。今年改訂された動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2022 年版では、冠動脈疾患またはアテローム脳梗塞の既往がある患者の中で、「急性冠症候群 (ACS)」

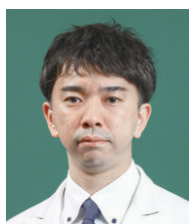
「家族性高コレステロール血症」「糖尿病」「冠動脈疾患のアテローム脳梗塞合併」のいずれかを有する場合は、LDL-C 管理値を 70 mg/dL 未満にすることが推奨されています。また、最新の欧州心臓病学会のガイドラインでは、このような高リスク病態では LDL-C 管理値を 55 mg/dL 未満にすることが推奨されています。そのため、当科では ACS で入院した患者において、LDL-C 値をより厳格な 55 mg/dL 未満（少なくとも 70 mg/dL 未満）で管理す

る取り組みを行なっています。この取り組みを開始する前の 2018～2019 年と比較すると、2020～2022 年に ACS で入院した患者の慢性期における LDL-C 70 mg/dL 未満の達成率は 41% から 72% に、55 mg/dL 未満の達成率は 14% から 31% に大幅に増加し(図)、その達成率は年々上昇しています。また、LDL-C 管理目標値が達成された後は、地域で開業の先生方に患者様をご紹介させていただく際に、このような厳格な脂質低下療法を継続していただくようお願いしています。引き続き、臨床と研究の双方の面から心血管イベント 2 次予防における厳格な脂質管理に取り組んでいきたいと思ひます。

(文責：大山 宗馬)

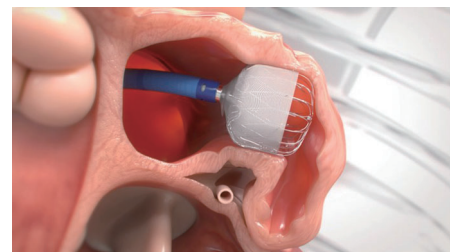


Brain-Heart Teamの重要性



昨今、脳卒中医と循環器医による Brain-Heart Team の需要が高まっています。脳梗塞の 20% を占める塞栓源不明例 (ESUS: embolic stroke of undetermined source) には心原性が多く潜んでいます。若年例では卵円孔開存症 (PFO: patent foramen ovale) を介した奇異性脳塞栓症が高率に関与しており、マイクロバブルを用いた心エコー図で診断し、経皮的卵円孔閉鎖術を検討できます。植込型ループ式心電計 (ILR: implantable loop recorder) によって潜在性心房細動が検出可能となり、より質の高い脳梗塞二次予防を提供できます。脳出血など大出血既往や高出血リスク例 (HAS-BLED \geq 3 点) な

ど抗凝固薬不耐の心房細動においては経皮的左心耳閉鎖術 (WATCHMAN FLXTM) によって高率に抗凝固薬が中止可能です。今年より胸腔鏡下左心耳閉鎖術も保険収載され、外科治療も含めた最適な治療を検討できます。当科では脳卒中医・心臓外科医とともに Brain-Heart Team による診療体制を本格的に導入予定です。



上記の治療適応例がおられましたら、ぜひ当科へご相談ください。

(文責：佐藤宏行)

循環器内科 急患ホットライン 080-2801-1810 (常時受付)

患者さんのご紹介・ご相談は：☎ 022-717-7153 (医局) / 7156 (FAX) / 7728 (外来) / 7786 (病棟)
本誌「HEART」へのご意見・ご質問は：✉ kikanshi@cardio.med.tohoku.ac.jp
当科HP URL：https://www.cardio.med.tohoku.ac.jp/2020/jp/ 公式Twitter：https://twitter.com/cardio_tu



心臓病は、我が国の主要な死亡原因であり、令和 2 (2020) 年の人口動態統計では、心疾患は死亡原因の第 2 位で、がんに次ぐ死亡原因となっています。また、令和元 (2019) 年の国民生活基礎調査によると、介護が必要となった主な原因として心疾患が占める割合は 4.5%であり、また、平成 30 (2018) 年度版の国民医療費の概況によると、傷病分類別医科診療医療費 31 兆 3,251 億円のうち、循環器系の疾患の占める割合は 6 兆 596 億円と最も多くなっています。このように、心臓病は国民生活や健康に重大な影響を及ぼす疾患であるとともに、社会全体に大きな影響を与える疾患です。

こうした現状に鑑み、健康寿命の延伸等を図り、あわせて医療及び介護の負担の軽減に資するため、予防や医療及び福祉に係るサービスの在り方を含めた幅広い循環器病対策を総合かつ計画的に推進することを目的として、脳卒中・循環器病対策基本法(「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」)が平成 30 (2018) 年 12 月に成立し、令和元(2019)年 12 月に施行されました。また、基本法に基づき、国の循環器病対策の基本的な方向を示す循環器病対策推進基本計画が令和 2 (2020) 年 10 月に策定され、各都道府県においてもそれぞれ推進計画が策定されています。国の基本計画では、「保健、医療福祉に係るサービスの提供体制の充実」として、患者を中心とした包括的な支援体制を構築するため、多職種が連携して総合的な取組を進めることとしています。この取組を効果的に推進するために、国は、地域の情報提供等の中心的な役割を担う医療機関に脳卒中・心臓病等総合支援センターを配置し、その効果を検証するモデル事業を開始しました。公募の結果、宮城県 / 東北大学病院は全国 12 か所の総合支援センターの一つに選定され、本年 7 月、東北大学病院脳卒中・心臓病等総合支援センターが開設されました(図 1)。

東北大学病院ではこれまで医療相談窓口、がん相談窓口などで患者・家族の相談に対応してきました。新設された脳卒中・心臓病等総合支援センターは、脳卒中・心臓病等の患者・家族を対象とした支援センターです。脳卒中や心臓病等の患者は、病気になった時に診断治療を行う、いわゆる急性期治療から、その後病気が落ち着いてからの慢性期治療、リハビリテーション、自宅での療養・介護など、時期によって状況が大きく変わります。特に心不全終末期では、QOL の維持や改善を目指した緩和ケアや終末期治療について、終末期に至る前から患者・

家族の希望を医療者と共有することが望まれています。このような患者・家族の不安や様々な疑問に対して、脳卒中・心臓病等総合支援センターでは、医師、看護師をはじめ各種福祉士、理学療法士、薬剤師など多職種で対応し、就労も含めて多くの情報を提供しながら相談支援を行います。支援対象は東北全県としておりますので、相談が必要な方がいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。

また、センターでは、地域住民の方を対象とした情報提供や啓発活動、医療従事者を対象とした研修会などの啓発活動、相談支援を効率的に行うための資材の提供、その他患者や家族、そして医療関係者の支援につながる活動を行っています。詳細につきましては下記ホームページもご覧ください。

参考：東北大学病院脳卒中・心臓病等総合支援センター
ホームページ
<https://www.hosp.tohoku.ac.jp/departments/d3337/>

**脳卒中・心臓病等
総合支援センター** について

脳卒中や心臓病を持つ患者さんや家族に、病気や治療についての情報提供や医療・介護・福祉・就労・障害に関する相談支援を行っています。

ご相談したいことはありませんか？

- 治療・予防について
- 仕事のことについて
- 経済的なことについて
- 介護について
- 後遺症について
- 薬剤について
- リハビリについて
- 食事療法について

お困りの際は窓口までお気軽にお越しください。
お電話やメールでも受け付けています。

※主治医の許可がなくとも相談は可能です

脳卒中・心臓病相談窓口(医療そうだん窓口内)

Tel 022-717-8735 受付時間: 月~金曜日 8:30~18:00 (祝日を除く)
メールアドレス: scd-support@hosp.tohoku.ac.jp

東北大学病院 〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1

循環器内科 急患ホットライン 080-2801-1810 (常時受付)

患者さんのご紹介・ご相談は：☎ 022-717-7153 (医局) / 7156 (FAX) / 7728 (外来) / 7786 (病棟)
本誌「HEART」へのご意見・ご質問は：✉ kikanshi@cardio.med.tohoku.ac.jp
当科HP URL： <https://www.cardio.med.tohoku.ac.jp/2020/jp/> 公式Twitter： https://twitter.com/cardio_tu